**６年　「武士の世の中へ」　（　８，９月　５時間　）**

1. **小単元の目標**…この単元は学習指導要領の内容（２）のエに基づいて行う

武士のくらし，源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いとそれらにかかわる人物の働きや代表的な文化遺産を通して，武士による政治が始まったことが分かるとともに，それらにかかわる人物の願いや働き，代表的な文化遺産の意味について考えようとする。

**（２）小単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを手掛かりに，武士による政治が始まったことについて，遺跡や文化財，地図や年表などの資料を活用して，必要な情報を読み取り，理解している。 | ・武士の台頭や源平の戦いの様子，鎌倉幕府の政治の仕組み，元との戦いとそれらにかかわる人物の思いや働きについて調べたことを比較したり，関連付けたり総合したりしながらこの頃の世の中の様子の変化を考え，適切に表現している。 | ・源平の戦い，鎌倉幕府の始まり，元との戦いを手掛かりに，武士による政治が始まったことについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 |

1. **知識の構造図**

**まとめる**

**中心概念**

**（いかす）**

　貴族の時代から，武士の時代に変わり，源平の戦いを経て鎌倉幕府が開かれ，武士による政治が始まった。そこでは幕府と武士とのつながりが大事にされたが，元との戦いによってその関係は弱まった。➎

**具体的知識**

・源頼朝が鎌倉に幕府を開き、全国に武士が力を及ぼす

ようになった。平氏や源氏にゆかりがある場所、鎌倉時

代の様子が伝わる場所が全国にある。❺

・元は日本に服従を求めてきたが北条時宗が退けた。全国から集まった武士は恩賞を得るために一所懸命に戦ったが、領地をあたえられず、幕府と武士の関係がくずれた。　　　　　　　　　　　　　❹

・頼朝は征夷大将軍となり、ご恩と奉公の関係で武士を従えた。承久の乱後、幕府の力は西国まで及ぶようになり、執権の北条氏を中心とした幕府は法律や裁判制度を整えた。　　　　　　　　　➌

・武士の中で勢いが強かった平氏は、平清盛を中心に、藤原氏に代わって政治を行うようになったが、貴族やほかの武士たちの間で不満が高まり、源氏が平氏を滅ぼし、源頼朝が鎌倉幕府を開いた。　　➋

・貴族が都で華やかな生活をしていたころ、地方で

田畑を開いたり、富を蓄えたりする者も表れ、そういった豪族達が武士となっていった。　　　　　❶

・元寇

・一所懸命

・てつはう

・征夷大将軍

・平清盛

・源頼朝・源義経

・鎌倉幕府

・ご恩と奉公

・承久の乱

・北条政子

・武士

・源氏

**用語・語句**

**問題解決的な学習の過程**

**調べる**

**つかむ**

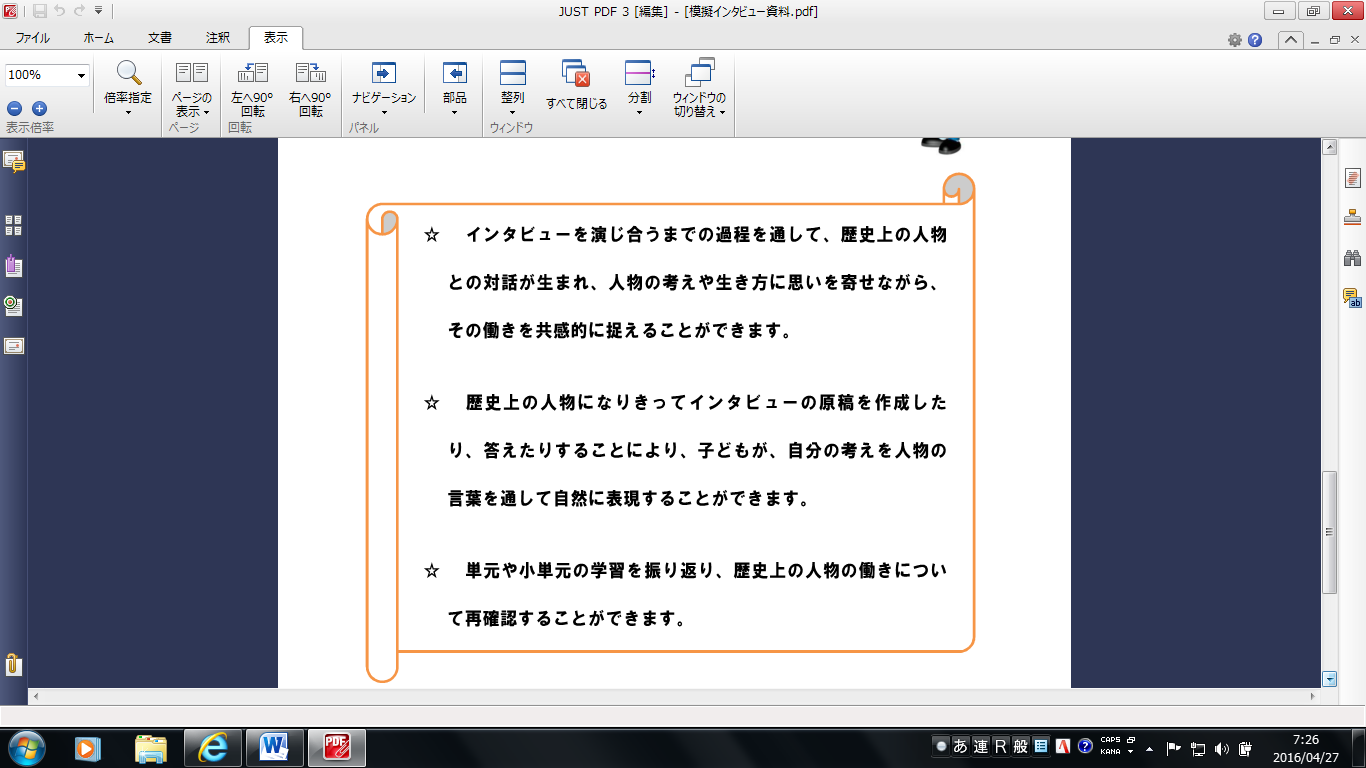
**いかす**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習  過程 | 主発問  　　　　　主な学習活動・内容 | □指導上の留意点  ☆評価計画 | | 資料 |
| 学習問題をつかむ（１時間） | 武士が，どのようなくらしをしていたのか，どのような願いをもっていたのかについて話し合い，学習問題をつくりましょう。❶  ①武士と呼ばれる人々の生活の様子について，想像図（教ｐ48）から予想する。  ②貴族の頃の人々の生活の様子と比べながら，学習問  　題をつくる。  **学習問題**武士の登場によって世の中は，どのように変わったのでしょうか。また，  武士は，どのような政治を行っていたのでしょうか。 | □イラストは想像図であることに留意しつつ，武士のイメージをふくらませることができるように指導する。「寝殿造」についておさえる。  ☆武士の生活の様子，貴族の生活との違い，武士の思いや願いについて関心をもち，意欲的に調べようとしている。  《態度》 | | ・武士のやかたの様子（教科書想像図）  ・都の貴族のやしきの様子（教科書想像図） |
|  |  | |  |
| 学習問題について調べる（４時間）  　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 武士はどのようにして勢力をのばし，源氏と平氏争いは，どのような結果になったのでしょうか。❷  ①「平氏にあらずんば人にあらず」という言葉から，当時の武士の立場について考える。  ②平清盛や源頼朝の肖像画を見て，知っていることや受ける印象を発表し，人物年表ともとにして活躍した時代を確認する。  ③読み取った事実から，源氏が平氏に勝利した理由を  　考える。  頼朝をかしらとする源氏が，平清盛を中心とする平氏をほろぼし，源頼朝が幕府を開いた。 | □貴族の藤原氏が行った政治と武士の平氏が行った政治の共通点と相違点について考えさせる。  □義経のエピソードや活躍の様子について伝記を使って調べながら，武士の世の中へ移り変わる時代の様子と関連づけて考えさせる。  ☆源平の戦いで源氏が平氏に勝利した理由を考え，多くの武士が領地を認めてくれる新しいかしらを求めて頼朝に従ったことや，弟の義経の働きがあったことを理解している。　　　　　《知識・技能》 | | ・社会科資料集  ・「日本の歴史-源義経」  ※図書室にある本をうまく活用したい。 |
| 頼朝は，どのようにして武士たちを従えていったのでしょうか。❸  ①承久の乱と北条政子の言葉について知り，源頼朝と  　鎌倉幕府の政治に関心をもつ。  ②鎌倉幕府の政治について調べる。  　ご恩と奉公の主従関係を築き，武士の政治が確立していった。 | □源頼朝と武士の関係については「ことば」の「ご恩と奉公」を参考にして，守護・地頭に任命することや領地の所有と関連づけて考えさせる。  ☆鎌倉幕府がご恩と奉公の関係で武士たちを従えたことや，朝廷の軍を破って，その力が西国まで及ぶようになったことが分かっている。  《知識・技能》 | | ・資料集（ご恩と奉公の関係図） |
| 鎌倉幕府は，どのようにして元軍と戦い，その後は，どうなっていったのでしょうか。➍  ①元との戦いの絵から，元寇に関心をもつ。  ②元との戦いについて調べる。  ③幕府の力が衰えていった理由を考える。  　一所懸命に戦ったものの，領地を与えられなかった武士との関係が崩れ，鎌倉幕府の力が弱まっていった。 | □元との戦いにおける武士たちの活躍については，ご恩と奉公の関係と関連づけて考えさせる。  ☆鎌倉幕府が衰退した理由を元との戦いと関連づけて考え，元との戦いの後，ご恩と奉公で結びついていた幕府と武士の信頼関係が崩れていったことを表現している。  《思考・判断・表現》 | | ・資料集（元寇について） |
| 学習問題について調べてきたことを，年表を使って整理し，「ことば」を使って鎌倉幕府の政治の特徴についてまとめましょう。➎   1. 武士の発生から元寇までを年表にまとめる。 2. 年表のできごとについて関係する人物のせりふを考え，４コマまんがを完成させる。   **貴族の時代から武士の時代に変わり，源平の戦いを経て鎌倉幕府が開かれ，武士による政治が始まった。そこでは，土地を仲立ちに幕府と武士のつながりが大事（御恩と奉公）にされたが，元との戦いによってその関係は弱まった。** | ☆武士の発生から元寇までの主なできごと  　と，人物の願いや働きを相互に関連づけ  　て振り返り，この小単元の学習で習得し  　た「ことば」をつかって，年表やせりふ  　に表現している。  《知識・技能》  《思考・判断・表現》 | | ・教科書の年表 |
| （いかす）配当時間なし | 人物なりきりインタビューに挑戦しよう。  ・調べてわかったことをもとに，その人物になりきってインタビューゲームを行う。  　１．4人1組のグループを作る。  　２．源頼朝，平清盛など調べた人物一人を選んでその人物になりきる。  　３．その人物になりきったつもりで他のメンバーからクイズ形式でインタビューを受ける。 | ☆各地に残る鎌倉時代のエピソードを知って，人物について詳しく調べることを通して，歴史にかかわる人物の願いや思いについて考えさせる。  《態度》 |  | |

|  |
| --- |
| インタビュー原稿シート　　氏名（　　　　　　　　） |
| インタビューのタイトル  「頼朝はどのようにして武士たちを従えていったのか？」 |
| レポーターの○○です。頼朝さんはどのようにして武士達をまとめていったのですか？？ |

**（５）参考資料**

**○インタビューゲーム**

ポイント

ポイント

　○NHK　for school「歴史にドキリ」

　　人物を中心に歴史学習を進める6学年の社会科では，偉人の功績だけでなく，その人間性にも触れさせることでより理解が深まっていく。また，その人物になりきって当時の様子を想像させることで，より身近に人物を捉えることができる。

　ＮＨＫfor schoolデジタルコンテンツの中の「歴史にドキリ」という番組は日本史における偉人を紹介している。教科書や資料集に加えて映像資料を活用することも，児童の理解を深めることにつながる。機会を捉えて活用したい。

ＮＨＫデジタル放送番組「歴史にドキリ」：http://www.nhk.or.jp/syakai/dokiri/